



共に歩んだ20年
結ばれた絆が未来を創る



丸亀市 市制施行20周年 記念式典

令和8年1月25日（日）
於 丸亀市綾歌総合文化会館
アイレックス



式 次 第

ウェルカムコンサート

◆第一部 開式の辞

国歌斉唱

市長式辞

市議会議長あいさつ

来賓祝辞

市政功労者表彰

各界功労者表彰

◆第二部 トークセッション 「私の好きな丸亀」

「城のある町」演奏

合 唱：丸亀市少年少女合唱団

管弦楽：丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ

閉式の辞



未来につなげたい ふるさと丸亀

丸亀市長
松永 恭二

平成17年3月に旧丸亀市・綾歌町・飯山町が合併し、新丸亀市が誕生して20年、当時生まれた子どもたちが二十歳の成人式を迎えたことに思いを馳せ、時の流れとその重みを改めて感じながら、本日、この節目を市民の皆様とともに祝うことができますことを心から嬉しく思います。

今回、表彰を受けられる皆様におかれましては、各分野で顕著なご活躍をされ、長年にわたり本市の発展に多大なるご貢献をいただいてまいりました。その功績に深く敬意を表し、心より感謝申し上げます。

振り返りますと、これまでの20年間は市民の皆様と「まちの一体感」を醸成した20年であるとともに、丸亀城石垣の崩落や新型コロナウイルス感染症拡大など、未曾有の困難に直面してきた20年でもありました。

それでもなお、本市が歩みを進めてこられましたのは、ふるさと丸亀を愛し、普段より支えてくださる市民の皆様、そして関係各位のご尽力の賜物であると改めて深く感謝申し上げる次第でございます。

国道438号や大東川の整備が着実に進められてきた綾歌・飯山地区、本年9月に新市民会館開館予定の大手町地区4街区など、ここ数年でまちの姿は大きく変わってまいりました。

今後とも進化し続けるまちの中で、歴史ある丸亀の魅力をしっかりと受け継ぎながら、誰もがイキイキするまちを目指して、この節目に新たな一步を踏み出してまいります。

ふるさと丸亀を未来の市民の皆様につなげられますよう、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。



丸亀、 未来を拓く新章へ

丸亀市議会議長
真鍋 順穂

市制施行20周年という節目の年を迎えられましたことを、市議会を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。市民の皆様、そしてこの20年間市政の発展にご尽力いただきましたすべての方々に、深く敬意と感謝を表します。

平成17年3月22日より新たな一步を踏み出した丸亀市は、令和の時代に入り、さらなる多様な課題と向き合いながら、産業、経済、福祉、文化などさまざまな分野において着実に発展を遂げてまいりました。令和3年に丸亀市役所新庁舎、そして市民協働のまちづくりの象徴である丸亀市市民交流活動センター「マルタス」が開館、また今年9月には、新市民会館「THEATRE MAdo(シアター マド)」も開館予定であるなど、丸亀の中心部が今、大きく変化しています。

こうした新しい公共空間が生まれる中、市議会におきましては昨年、まちなかの在り方について専門的かつ広域的に調査研究し、官民連携のまちづくりに取り組むべく、「中心市街地等活性化特別委員会」を設置しました。まちなかから丸亀市全域へ、それぞれの地域の特性を最大限に生かした、魅力あふれる持続可能なまちづくりに努めてまいる所存です。

市議会では、市民の皆様の声を市政に反映すべく、議会報告会や意見交換会を開催するなど、身近で開かれた議会を目指しております。今後とも、丸亀市のさらなる発展のために、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、ご挨拶いたします。

市政功劳・各界功劳表彰被顯彰者 (敬称略・順不同)

市政功劳	地方自治功劳	教育文化功劳	社会福祉功劳	保健衛生功劳	環境衛生功劳	消防功劳	
岩崎 正朔	赤松 俊男	青木 由子	綾澤 龍丸	安部喜榮子	宇野 忠昭	秋山 秀樹	富田 等
岡田 剛	大西 芳市	有森 敏行	稻尾 桂子	石田 孝敏	山地 道弘	今田 靖夫	中川 清
加藤 正員	岡田 忠行	伊井 一雅	岩崎 晶典	今田 安彦	横山 融	有家 仁孝	長友 光憲
川田 匡文	香川 正治	井上 健一	大倉 節子	江戸恵理子		内山 聖規	永森 和之
神田 泰孝	勝丸 千晶	岩井 俊明	岡田久美子	大西 信正		内海 孝教	奈良 哲郎
真鍋 順穂	川崎 章	岩崎 隆則	奥澤日登美	大林 弘明	伝統産業振興功劳	大石 一夫	新居世志彦
水本 徹雄	木下美保子	遠藤 賢	香川 智子	河村 和俊	矢野 俊郎	太田 義光	西川 洋一
	小山 安造	大北 徹	香川 春江	楠原 俊一		大橋 正長	橋本 勉
	坂田 久男	太田 正則	金丸 繁利	塩田 トシ	商工業振興功劳	大林 敏彦	馬場 勝文
	上戸壽美子	大塚 浩二	唐崎 瞳	塩田 等	秋山 浩志	大平 義美	廣瀬 行晴
	玉井 弘一	小川 忠司	喜多 壽子	柴田 昌志	天野 博司	大前 政明	深井 幸治
	直江 安俊	金丸 真明	小阪久美子	小路 竜一	和泉 清憲	小川 勝英	富木田 誠
	中岡 鈴雄	金森 正博	小嶋 朱	白川 博朗	大林 建夫	奥田 勝史	藤井 明弘
	山下 武	鎌谷 敦之	白井菜穂子	代田 英覚	岡田将一郎	尾崎 和敏	藤田 久行
	山下 義正	木谷 直充	末森壽々世	田所 弘	香川 芳文	香川 進	本田 昌司
	横山 仁	北村 博司	砂川 光利	近石 恵三	川上 康夫	香川 佳輝	前田 建藏
		倉田 康男	高橋 勝子	中村 清美	白井 孝夫	金丸 正俊	松浦 孝仁
		小林 静	高橋 蓉子	夏見 良宏	杉尾 英美	金森 保博	松下 忠則
		斉藤 孝	武田 英子	西紋 孝一	高畠 秀明	神田 昭夫	松下 仁
		高木 康弘	土井 裕子	野村 勤	高濱 和則	喜田 孝雄	松下 安廣
		立石 陽志	野田 紗代	日根野谷敬	辰巳 正兼	北村 伸二	松谷 佳幸
		次田 一代	濱上 操子	藤田 寛	近澤 亨	草薙 雅昭	松永 哲之
		土井マスミ	原田 敏子	藤本 清	富田 隆造	窪田 真生	松成 薫茂
		徳永 秀文	藤田 正志	増田 修一	馬場 俊作	小阪 正裕	松村富美雄
		中野 裕子	松永 和子	丸尾 浩史	平田 孔司	小塚 博	松本 誠造
		中野実千代	松野 幸子	三浦 卓二	藤井 公雄	小林 利彦	松本 哲治
		西川 徹	松原 繁	三浦美智子	藤大 茂雄	小林 喜浩	三宅 巧
		丹羽 佑一	眞鍋 信一	三崎 敬三	松崎 隆	佐々井憲治	宮本 克之
		林 裕美子	宮武 英子	三崎 昌史	眞鍋 匡徳	佐藤 隆彦	宮本 信也
		早馬 恵美	守家 敬子	溝渕 博司	山下 峰彦	重成 英司	三好 祥徳
		平井 光子	山下 博	宮野 恭匡		白井 博文	守家 学
		福田 康知	横井 邦彦	森本 雄次	農林水産業振興功劳	鈴木 修	山口 富雄
		吉田 智彦	横山 秀樹	山内 光昭	三原 典子	高木 恒雄	山下 善繼
		和田 宏幸		山崎 章子		高塚 利夫	山村 春二
				横瀬 好孝		高橋 善博	横井 隆浩
				米本 文子		滝井 悟志	横瀬 實
						田中 敏文	横山 純一
						田中 宏明	横山 隆雄
						谷渕 寿人	吉田 勝
						堂崎 文明	吉本 博之

丸亀市市制施行20年間の歩み

2005 (平成 17) 年	3月 旧丸亀市、綾歌町、飯山町が合併 丸亀市誕生 4月 初代丸亀市長に新井哲二氏 就任 9月 人権尊重都市宣言/丸亀市非核平和都市宣言 12月 丸亀市男女共同参画都市宣言
2006 (平成 18) 年	3月 「丸亀市自治基本条例」制定 4月 丸亀城が「日本100名城」に選出
2007 (平成 19) 年	3月 国道32号綾歌バイパス4車線化完了
2009 (平成 21) 年	4月 ボートレースまるがめで四国初のナイターレース (ブルーナイター)開始 8月 亀山動物園閉園 (亀山公園こどもの国は平成19年閉園)
2010 (平成 22) 年	4月 讃岐富士の日を制定(4月22日)
2011 (平成 23) 年	3月 「丸亀うちわの製作用具及び製品」が国の登録有形民俗文化財に選ばれる
2012 (平成 24) 年	4月 濑戸内中讃定住自立圏形成協定(2市3町)締結
2013 (平成 25) 年	4月 丸亀市長に梶正治氏 就任 10月 本島で(第2回) 濑戸内国際芸術祭が初開催
2014 (平成 26) 年	2月 秋田県由利本荘市と友好都市協定及び災害時相互応援協定締結
2015 (平成 27) 年	3月 丸亀市民球場オープン 12月 丸亀城天守年間入場者が初めて10万人突破
2016 (平成 28) 年	10月 北海道京極町と親子都市協定締結
2017 (平成 29) 年	3月 市民会館閉館
2018 (平成 30) 年	7月・10月 西日本豪雨等の影響により丸亀城三の丸・帯曲輪石垣が崩落
2019 (令和 元) 年	4月 丸亀市×サン・セバスティアン市「チャコリの日」を制定(4月9日) 5月 笠岡市・土庄町・小豆島町と共同申請した、「石の島」の物語(ストーリー)が文化庁の「日本遺産」に認定
2020 (令和 2) 年	5月 新型コロナウイルス感染症拡大により、丸亀お城まつり中止
2021 (令和 3) 年	3月 「ゼロカーボンシティ」宣言 新庁舎が完成し、業務開始 丸亀市市民交流活動センターマルタス開館 4月 丸亀市長に松永恭二氏 就任 12月 国指定史跡快天山古墳で 72年ぶりに石棺を確認
2022 (令和 4) 年	12月 学校給食費を無償化
2023 (令和 5) 年	1月 パートナーシップ宣誓制度開始 4月 こども医療費助成制度対象を18歳まで拡大 5月 ボートレースまるがめに「グルーンまるがめ」オープン 7月 ドイツ・ヴィリッヒ市と姉妹都市提携を締結 10月 世界の持続可能な観光地TOP100 に選出
2024 (令和 6) 年	2月 丸亀市総合運動公園に「アーバンスポーツパーク」オープン 4月 「人づくり石垣プロジェクト」開始 7月 「延寿閣別館」で城泊がスタート 8月 丸亀城石垣積み上げ開始
2025 (令和 7) 年	3月 市制施行20周年 (3月22日)

第二部 トークセッション「私の好きな丸亀」

本市にゆかりの深い方が、丸亀の好きなところを語り合います。ご来場の皆様と一緒に様々な魅力を再発見し、未来の丸亀の姿につながるようなひと時を過ごしたいと思います。

〈登壇者プロフィール〉

ファシリテーター



なかい きょうこ
中井 今日子氏

(香川県知事公室情報発信参与(地域振興)・フリーアナウンサー)

地元メディアでの実績とネットワークを生かし、大学で産官学連携コーディネーターとして自治体・企業間との案件に関わった後、現在も地域の今を発信すべく奔走中



うえしばら ひかる
漆原 輝氏

(NHKアナウンサー)

NHK高松の夕方のニュース番組「ゆう6かがわ」メインキャスター。鞆の中には、常に丸亀うちはが入っている。骨付鳥は親派、自分でスパイスをブレンドし、自宅で焼いて楽しんでいる。



なかの みなこ
中野 美奈子氏

(フリーアナウンサー・丸亀市文化観光大使)

フジテレビのアナウンサーとして活躍後、フリーに。2021年より家族で丸亀市にUターン移住し、1男1女の母として子育てにも奮闘している。

骨付鳥はひな派。

あおい しづか
青井 静氏

(飯山中学校学習支援 校内サポートルーム担当、香川県社会教育委員ほか)

在京企業の研究員を経て県の埋蔵文化財センター勤務。結婚後夫の仕事で各地を転々とする。1999年から飯山町にてワンオペ育児開始。まだ末っ子が大学生。趣味は絵本とSNS。

たかぎ ともひと
高木 智仁氏

(まるがめまちなか再生エリアプラットフォームメンバーほか)

東京のインテリアメーカーに入社。Uターンで丸亀市に戻る。現在、地域に眠る資産のリノベーションなどを手掛け、地元の盛り上げに取り組む。

やまなか たかね
中山 天音氏

(令和8年二十歳の成人式実行委員会 会長)

丸亀市で暮らす大学生。子どもの頃から星が好きで、現在は改めて宇宙を学びはじめている。

3月には念願のドイツ留学に出発予定!



20周年記念事業を実施するにあたり、市民の皆様に
親しんでいただけるよう作成したロゴマークを紹介します。

ロゴマーク

全国から応募のあった92作品のうち、選出された3作品でLINE投票を実施。約2,000票の投票の結果、最多得票の占部博士さんの作品が最優秀賞となり、記念事業のロゴマークに採用しました。

【制作者の思い】

丸亀市のシンボル「丸亀城」と「飯野山」を。また、海上交通の要衝として歴史のある丸亀港をイメージして瀬戸の海をあしらいました。丸亀市の魅力を存分に盛り込んだ、市制施行20周年にふさわしいデザインです。





市制施行20周年記念PRポスターについて

HOTサンダルプロジェクトを経て市内の島に移住した画家、田嶋里菜さんに考えていただいた「丸亀らしいもの」をたくさん集めたデザインを原案としたポスターです。市内各所に掲示され、多くの方に20周年をPRしてきました。

丸亀市の情報は
こちらから



ホームページ、各種SNSを
ご覧いただけます。